

全国環境セミナー2016の特徴

今年の全国環境セミナーは、**栃木県宇都宮市**にある

宇都宮大学 峰キャンパスで開催します！

セミナーでは

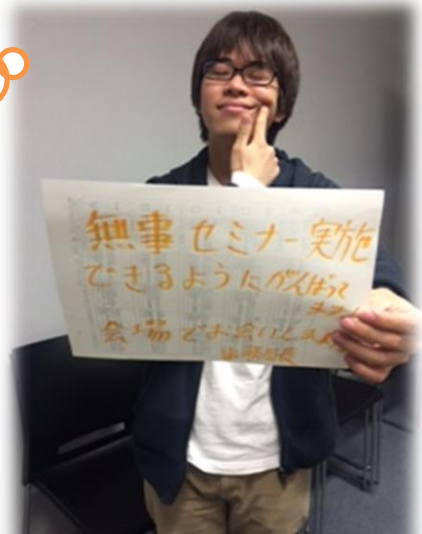
宇都宮大学国際学部高橋若菜先生からのご講演と

環境改善学生サポーターECHOの活動報告を予定しています！

全国環境セミナーNEWS Vol.2では、ご講演いただく**宇都宮大学国際学部 高橋若菜先生**、そして、**宇都宮大学生協学生委員会**、**宇都宮大学環境改善学生サポーターECHO**をご紹介します。

セミナーへの参加お待ちしております！

申込締め切りまで、あと**7日**！
各地からの申し込みをお待ちしております！(事務局長 川岸晃良)



全国環境セミナーに関するお問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部

高橋若菜准教授



セミナーでのご講演概要～

『足尾・渡良瀬地域から 持続可能な社会の発展を展望する』

今日の環境問題をはじめとするグローバルな問題をもちだす社会的構造に着眼し、栃木県の足尾地域で起こった「足尾銅山鉱毒事件」を題材としながら、持続可能な社会の発展について考える。

～略歴～

英国サセックス大学大学院修士課程修了、神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程修了、博士（政治学）。1998年より（財）地球環境戦略研究機関に勤務、環境ガバナンスプロジェクト、気候政策プロジェクト研究員を経て、2003年に宇都宮大学国際学部講師、2005年より現職。

2012年度、スウェーデン・ルンド大学国際環境産業経済研究所客員研究員。専門は地球環境政治、比較環境政治。越境大気汚染管理、低炭素社会形成、循環型社会形成分野を対象に、環境政策や取組みが地域・国家間で相違する要因を、ガバナンス構造や、アクター、政治プロセスの相互作用に着目し解明する研究に従事している。東日本大震災直後は、原発避難者の支援活動も行い、現在も調査活動を続けている。著書に『国際関係論のフロンティア』（共著、ミネルヴァ書房、2003年）、『お母さんを支えつづけたい』（共編著、本の泉社、2014年）、『世界を見るための38講』（分担執筆、下野新聞社、2014年）、『原発避難と創発的支援』（共編著、本の泉社、2016年）など。

全国環境セミナーに関するお問い合わせ先

～宇都宮大学生協学生委員会と 環境サークルECHOの紹介～

生協学生委員会(C.C.S)

人数は53人

部局制で、通年活動として

「食堂」「購買」「共済」

「環境」「書籍」「キャリア

形成支援」「総代」「広報」

の8つがある。

環境改善学生サポーター-ECHO

20名ほどで活動

学内・学祭・学外の3つの部門。

エコ容器使用の推進、ゴミ箱の改

善、学祭でのゴミの分別指導や計

量、古着回収、他の環境活動団体

との交流などを行う。

詳しい活動紹介は次ページへ！

生協学生委員会と環境サークルとの協力

* **Dappy!!**(リ・リパック)容器や使用済み割りばしの回収

月に1回の話し合いがあり、学生委員会から、Dappy!!
の回収率を共有。



* **“Dappy!!”**って????

宇都宮大学ではリ・リパック容器(再生・再資源化可能容器)のことを
Dappy!!=だっぴ(脱皮)／Happy(ハッピー)とかけてよんでいます！

全国環境セミナーに関するお問い合わせ先

宇都宮大学生協学生委員会 (C.C.S:Coop Creative Staff)

環境局の紹介

人数:3人

活動目的:「組合員全体を巻き込んだ環境改善活動を行う」
「環境活動を身近に感じてもらい、自ら行動を起こしてほしい」

～これまでの主な活動～

◎環境通信

新入生に向けて、Dappy!! (P.3で解説) の紹介やリサイクル方法・ごみ分別を紹介。大学会館内に掲示。

◎購買担当とのコラボ企画:「投票してください、セールしますよ」

アルフォートのブラック/ホワイトのどちらをセール品にするかをかけて投票してもらう企画。Dappy!!容器と購買のシートを使って投票。楽しみながらDappy!!容器の回収に協力してもらいたいという思いから実施し、投票期間は昨年と同時期よりも回収数が増加。



～今後の活動～

◎グリーンカーテン

食堂内を快適に過ごしてもらえるようにグリーンカーテンを育成。成長過程を広報する等、組合員に知らせる取り組みも行う予定。

◎「Dappy!!ツムツム」

フィルムをはがしたDappy!!容器を積み上げてもらい、一定の高さまで到達したら、購買の商品が割引になるという企画。

全国環境セミナーに関するお問い合わせ先

宇都宮大学環境改善 学生サポーターECHO

～環境サークルECHOの成り立ち～



・2008年、1人の学生が「宇都宮大学の環境への取り組みはこのままで良いのだろうか」と考え、同じ志を抱いた学生が集まり結成された学生委員会が前身団体の環境ISO学生委員会。

・その後、大学の公認を受け、2009年に学務部のもとに設置されたのが宇都宮大学環境改善学生サポーターECHOであり、現在では宇都宮大学の学生や地域の方々にゴミの分別に対する意識を高めてもらうことを目的として活動している。

～学祭での活動～

ゴミの分別指導、廃油・古着回収、食品販売の団体に対するエコ容器使用推進、学祭で排出されるすべてのゴミの計量。また、学園祭で排出されたゴミの量などをまとめた学祭報告書を毎年提出。

～学内での活動～

大学内の建物ごとにゴミ箱の形や配置が異なるため、ゴミの分別に戸惑う人が多い。「できるだけ多くの建物でゴミ箱を統一しよう」と活動している。

～学外での活動～

これまで行ってきた環境活動の展示や、全国大学生環境活動コンテスト（ecocon）への参加、ペットボトルリサイクル工場の見学など。



その他、宇都宮大学で開講される環境に関する授業をまとめた「環境シラバス」や、ゴミの分別方法などをわかりやすく記載した「ECOSTYLE」の作成など。

全国環境セミナーに関するお問い合わせ先